

### 小学校学習指導要領案についてのパブリックコメント

近年、国民の暮らしを取り巻く環境が大きく変化する中で、金融知識の不足に起因した金融トラブルが、若年層に拡がりながら増加している。このため、国民ひとり一人が金融に関する基礎知識を学び、金融に関して主体的に判断する能力を身につける必要性が高まっている。また、金融教育は、学校教育が掲げる「生きる力」を育むものでもある。以上を踏まえると、社会科、家庭科の学習指導要領に、以下のようなかたちで、お金や金融に関する記述を書き込んでいただきたい。

例えば、具体的には以下のとおり。

社会科「第 2 各学年の目標および内容 [第 3 学年及び第 4 学年] 2 内容」( 2 ) 地域の人々の生産や販売については、現代の社会では生産や販売といった経済活動がお金を使って行なわれていることを理解させてほしい。

「同」( 3 ) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理については、決して無料で供給しないし処理できないこと、すなわち費用が掛かることを理解させてほしい。

「第 2 各学年の目標および内容 [第 5 学年] 2 内容」( 2 ) 我が国の農業や水産業、( 3 ) 我が国の工業生産については、その内容の取扱いにおいて、価格や費用について取り扱うものとされているが、価格は基本的に需要と供給の関係で決まること、また、農業、水産業、工業を含むあらゆる産業において、その経済活動を行なうにはお金が必要なこと。その必要なお金を、家計の預金等を通じて融通している金融機関があることを理解させてほしい。

「同」( 4 ) 情報化した社会の様子については、現金とは異なる各種カードや電子マネーを理解させてほしい。

家庭科「第 2 各学年の目標および内容 [第 5 学年及び第 6 学年] 2 内容」D ( 1 ) ア物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えることでは、「必要なものと欲しいものとの違い」、「お金が足りない場合にはお小遣いやお年玉を今すぐに使わずに我慢して計画的に貯めて買うこと」、「お小遣い帳をつけることの必要性」について理解させてほしい。

以上の点は、道徳教育、総合的な学習の時間、特別活動とも関連していることについても、書き込んでほしい。